

御殿場

2008
No.182号

7

十字の園

(題字 鈴木生三)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 上野 貢一

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail; info@g.jyuji.or.jp

印刷／岳麓印刷株式会社

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



玉穂ふれあいプール近郊

イルド

理事長 平井 章

長寿の祝いは、奈良時代に中国の風習を取り入れたもので、初めは、数え年四十歳以降、十年ごとに、「四十の賀」、「五十の賀」、「六十の賀」などと呼んで祝っていましたが、室町時代の末期頃から現在のように還暦、古稀、喜寿などと祝うようになったようです。順番に還暦(六十)、古希(七十)、喜寿(七七)、傘寿(八十)、米寿(八八)、八十一と書いて半寿、卒・龜寿(九十)、白寿(九九)、百・鶴寿(百)、茶寿(百八)までは知っていましたが、まだありません。皇寿(百十二)、頑寿(百十九)、昔寿(百二十)は二回目の還暦から大還暦とも言います。

さて「天寿を全うする」と言いますが、天寿とは何歳のことでしょうか。百科事典『ウィキペディア』には二五〇歳とありました。

還暦を迎えて一年生きながらえて思いました。長寿の秘訣は、今日を大切に生きること。その積み重ねが八十になり百に繋がります。

「理念と基本」

御殿場十字の園施設長 上野 貢 一

御殿場十字の園の創設期に大きく関わった岡本明夫牧師が機関紙一六九号に寄せた文章に、初代理事長鈴木生二氏の言葉として、「今、言いたい事はなにか、聞けば、静かな声で『理念を忘れないで、基本を確かにして欲しい』と言われる様な気がしてならない。」という文章があります。何時の時代にも、理念と基本に帰ることは大切なように思います。鈴木生二氏の思いを、このところ思い廻らす日々です。

五月、六月にかけて、二つの集会に出席し講演を聞きました。一つは、母校日本福祉大学同窓会静岡支部総会の後に「障害者政策と自立支援」というテーマで同大学教授訓覇法子氏の講演を聞きました。先生は、スウェーデンの大学の教師もなさっている方で、日本とスウェーデンの福祉の

違いを話されました。今、「福祉国家」という言葉が時代遅れのように遠くに行つてしまつたような感があります。「福祉国家」には、キリスト教の考え方が基本にあります。すべての国民が幸せになる為からの発想です。医療、福祉、教育は、競争原理は合わないからと国家が責任を持つています。日本の福祉は、国民の一部を対象にしている、特にこのところ競争原理が導入され事業者の経営の自助努力が叫ばれています。国民が、弱者の立場になつた時、どんな暮らしがあるのか。もう一つの講演は、日本社会福祉士会の総会での、国際医療福祉大学名誉学長阿部志郎氏の講演です。社会福祉士資格ができ二十二年がたち、会も会員数が三万名に達する大きな組織になりました。総会に集まつた聴衆に、人間の罪、自分が

「口腔ケア研修」

研修委員会

近年、口腔ケアの取り組みが老人福祉施設、老人保健施設、病院などさまざまな方法でなされています。

私達御殿場十字の園は早くから口腔ケアに力を入れてきました。現在、朝・昼・夕の毎食後の口腔ケアを実践し、最近では口腔リハビリとして食前に「口腔体操」を行い、利用者の皆様の口腔内を健康に保つよう、各ユニットで工夫をしています。

今回、改めて口腔ケアについて再確認するという意味で「なぜ口腔ケアが必要か？原点に戻って口腔ケアの必要性を学ぶ」というテーマで口腔ケア研修会を開催しました。

今回の研修会は御殿場十字の園で長年診療にあたって来られた米山武義先生に講師をお願いし、歯科衛生士の方々も参加してくださいました。米山先生は御自身の体験談や

写真を交えながら口腔ケアの必要性を語ってくださいました。「歯科が十字の園に関わるようになって口腔内もそうだが心身状態のレベルアップにつながった。それに伴い誤嚥する事が少なくなり発熱も減った。」と長年十字の園に関わつてこられた感想と、口腔ケアと誤嚥性肺炎との関わりも話してくださいました。

「口」というものが如何に大切かを改めて教えていただきました。また歯科衛生士の方々には、日頃口腔ケアをしていて感じる疑問や質問をさせていただきました。

私たち職員としては、普段、口腔ケアや口腔に関する意見を交換しているのと話し合つてはいるのですが、なかなか話がまとまらず煮詰まらないことが多々ありました。今回この

ような機会が口腔ケアの大切さや口から食べる事の喜び、口腔ケアと誤嚥性肺炎とのつながりを改めて知る事が出来ました。そしてまた質問をさせていただき疑問に対しての答えを得る事が出来、新たな知識を増やす事が出来ました。

また米山先生が講演の中で「施設の臭いの元は口臭も大きく影響されているといわれています。十字の園ではその臭いが気にならなくなった。皆さんのおかげです。」と仰つていただけの事はとても嬉しく、これから先も努力し頑張つて行きたいと思うと共に気持ち新たに口腔への意識向上につなげて行きたいと思っています。(込山まゆみ)

口腔ケア マニュアル



静岡県歯科医師会

一番可愛いことを超えて、我と汝として向き合い如何に分ち合うか、「半分子」出来るかを問うていました。若いソーシャルワーカーに、未来を託す思いで語られているようでした。その講演の前に、厚生労働省老健局長中村秀一氏が、講演を行いました。日本の国家財政の厳しさ、他の省庁の予算に比べ、社会保障費の伸びの大きさ、ここ数年日本の政策の動向が、如何に厳しいかを予測を含めて語られました。国民が思っているよりも厳しい現状の中で、高齢者が、安心して、豊かな老後を送る為に、どう国が舵を取っていくのか。「自助、共助、公助」。生易しいものではなく皆が知恵を出し合って乗り越えなければいけないように思います。施設は、一隅において、高齢者福祉の最前線です。感じることは、高齢者の笑顔です。



開設当時(昭和46年) 執務中の鈴木生二理事長

安心と平安な暮らしの中でのこの笑顔を決してなくしてはならないとの思いです。理念とはなにか。基本とはなにか。ハニ姉妹が言われた、十字架の元に立ち続けることの意味の大きさを思い、人権を守り、驕ることなく今行っていることを、謙虚に見直すことの大切さを思うのです。暑い夏がやってきました。利用者の皆さんの健康管理には、十分注意をしていきたいと思えます。

〈在宅福祉便り③〉

障害者相談(指定相談)支援事業所

相談支援員 武藤 繁生
相談支援員 井上喜代子

先ず初めに障害者相談支援事業所は誰がどんな事をやっているかご説明いたします。読んで字のごとく「障害者」のための「相談所」です。対応にあたる職員は現在二名。御殿場十字の園の一階北側に障害者相談支援事業所の相談室を構えております。専門的知識や現場経験等を満たした者が、障害者相談支援従事者研修過程を卒業し相談支援員資格を取得し現場で支援に当たります。介護保険制度でいう居宅介護支援事業所と地域包括支援センターをたしたようなものが障害者相談支援事業所といえるのでしょうか。次に私どもが行っている日頃の活動を簡単にご紹介いたします。

・自立の為のサポート
・ケアプランの作成
・虐待の防止、早期発見等
以上の様な支援活動を「訪問・電話相談・来所相談・メール相談」等に対応させていただきます。一人一人に合った支援。相談者が笑顔で生活が送れるように私たち相談支援従事者は支援をしています。

知的障害者、精神障害者、障害児については、従来は都道府県において実施されていましたがが最も身近な地域において支援を受けられるよう、平成十八年四月、障害者自立支援法の施行により市町村の生活支援事業の必須事業として「相談支援事業」は位置づけられました。当事業所は静岡県県の県指定を受け指定相談支援事業所として、また前に述べた地域生活支援事業に位置づけられる相談支援事業を、御殿場市・小山町からの委託を受け、御殿場・小山地区の障害者、障害児を対象に支援させていただいております。



小山町は平成二十年四月から委託を受け相談支援の活動エリアを広げさせていただきました。

※自立支援法は三障害を一元化し支援していくという制度ではありませんが、専門性にかける場合などは主たる対象者を指定して行うことができます。当事業所は身体障害者・障害児の方を主たる対象者として行っております。知的障害者・精神障害者支援は私ども支援員だけでは専門性にかけるため他相談支援事業所(やまも俱楽部・エイブル富岳)と連携をはかり、その方により専門的な支援ができるようご紹介(引継ぎ)を行っております。

ひばり 江間の苺狩りに行ってきました

4月のドライブ外出で江間の苺狩りに行ってきました。真っ赤に熟した大きな苺をほおばり、皆さん笑顔いっぱいでした。



春の
イベント
報告



ひまわり ドライブ外出



桜の木の下でパンザーイ！気持ちが良いですね。

コスモス イベント

「あ〜ん」本日のメイン、パンくい競争！4月18日ふじざくらデイと合同運動会を開催しました。皆様のお達者ぶりに感激!!



ちどり 外出

待っていてくれた桜。4月21日もうほとんど葉桜になっていましたが、富士霊園の上の方の桜は私達を待っていてくれました。



スミレ 外出

スミレでは富士霊園と箱根と三嶋大社にいきました。綺麗な桜を見ることが出来て、皆大満足の様子でした。



防災訓練報告

五月二十九日(木)

「新職員等の消火器訓練」

新職員等の消火器訓練が中庭で行われました。防災設備業者からの消火器取り扱い説明を受けて、一人一人が体験しました。ケアハウス利用者(男性)も参加しました。新職員や利用者からの質問も有り、業者の方も熱の入った説明を下さいました。今回は「環境に優しい」という水消火器を使用した訓練でした。



ケアハウス
御殿場アドナイ館

入居者の様子②⑦

五月二十二日(木)

「遠足」

東富士五湖道路・須走インター↓富士吉田・河口湖インター↓道の駅「朝霧高原」↓富士国際花園・昼食・猛禽ショー↓東名・富士インター↓東名・御殿場インター↓ケアハウス帰館
富士国際花園では、受付の横で本物のフクロウが迎えてくれました。温室に入ると巨大な球根ベコニア群が出迎え、頭上も一面の花で、池にもたくさんのお花が浮いていました。昼食は、花々に囲まれて、「富士宮焼きそば」「シラス丼」などを頂きました。



☆ボランティア紹介☆

私のボランティアのきっかけ

芹澤 菊枝

母が他界し、心の中にぽっかりと穴が開いたように感じ、お年寄りに触れたい気持ちでボランティアに応募しました。ただ母がショートステイを利用していただき、職員の皆様がじっとしている暇もなく動き回っており、あまりにも雑用が多い事に驚いた記憶がありましたので、『果たして私に動まるだろうか?』という一末の不安と心配がありました。

すでにボランティアとして働いている先輩と十字の園の担当の方に、納得できるまで何度も先の不安心配事を相談させていただき、月に二回お話し相手のボランティアをさせていただくようになりました。『言葉をお互いに交わす。』ということは日常の当たり前の行為なのですが、改めてお仕事として『人と人とのコミュニケーション』をするに当たって心がけた事がありました。まず相手の気持ちになって話に耳を傾けること。誠実に理解すること。話すときには、言葉だけでは無く表現力で解つて頂けるようにすること。またボランティアの中で学んだことは、『それぞれの方々は人生の先駆者として、歴史の重さとして人生の年輪を心に刻まれていらっしゃる』という現実を、まず私が理解しなければ始まらないということ。先入観は絶対にいけないということ。



人が集うということとは『会話』が不可欠です。『会話』の中で笑顔も生まれます。お話し相手をさせていただいて皆さんを笑顔にしたいにしたいに願って止みません。

御殿場十字の園 平成19年度決算報告

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	19,978
現金預金	152,585	固定負債	366,333
未収金	113,871	負債の部合計	386,311
流動資産計	266,456	純資産の部	
固定資産		基本金	175,413
土地	379,297	国庫補助等特別積立金	568,990
建物	760,224	その他の積立金	28,000
その他の固定資産	45,966	次期繰越活動差額	293,229
固定資産計	1,185,487	(内当期活動収支差額)	(16,991)
資産の部合計	1,451,943	純資産の部合計	1,065,632
		負債・純資産の部合計	1,451,943

事業活動収支計算書

摘要		金額
介護保険収入(含利用料)		554,633
その他		181,570
事業活動収入		736,203
人件費支出		486,117
経費		172,114
利用者負担軽減		1,842
減価償却費		59,417
その他		1,421
事業活動支出		720,911
事業活動収支差額		15,292
事業活動外収支差額		2,789
特別収支差額		-1,090
当期活動収支差額		16,991

平成19年度支える会決算報告書

収入(献金)の部		支出の部	
現金	1,760,193	振込手数料	6,700
(91件)		印刷代	564,480
振込	535,500	郵送料	5,680
(71件)		消耗品費	67,200
		借入金償還等	1,651,633
合計(162件)	2,295,693	合計	2,295,693

昨年度も多大なご献金ありがとうございました。

貸借対照表

資産の部		負債の部		摘要		金額
流動資産		流動負債	4,450	利用者等利用料収入		33,722
現金預金	21,332	固定負債	138,612	補助金収入		18,589
未収金	2,493	負債の部合計	143,062	その他		9,648
流動資産計	23,825	純資産の部		事業活動収入		61,959
固定資産		基本金	137,257	人件費支出		15,093
基本財産	312,218	国庫補助等特別積立金	136,513	経費		24,700
建物	312,218	その他の積立金	0	減価償却費		20,470
その他の固定資産	60,529	次期繰越活動差額	-20,260	その他		41
		(内当期活動収支差額)	-3,650	事業活動支出		60,304
固定資産計	372,747	純資産の部合計	253,510	事業活動収支差額		1,655
資産の部合計	396,572	負債・純資産の部合計	396,572	事業活動外収支差額		-105
				特別収支差額		-5,200
				当期活動収支差額		-3,650

新人職員紹介

大日方 恵理

一番印象的だったのは「あいさつ」でした。小さな事でも毎日の積み重ねで、大きな力になると思います。



内村 一俊

始めまして。内村一俊と申します。私は「御殿場十字の園」に良い風を吹き込む事が出来るようにがんばります。



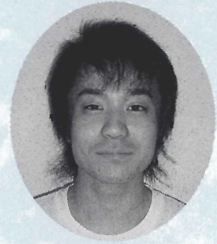
松井 ゆかり

毎日利用者様から笑顔と元気をいただきながら、一緒に笑顔を絶やさずがんばって生きていきたいと思います。



上屋 敷 優紀

3階でお世話になっていきます。一生懸命がんばりますのでよろしくおねがいします。



早川 美穂

4月より新職員となりました早川美穂です。笑顔で頑張りますので、よろしく御願い致します。



黒津 太一

晩秋より御殿場十字の園でお世話になっております。生まれは同県伊東市になります。御殿場在住14年目。これから末永く御願ひいたします。



近隣の情報

あまだトンボ池

御殿場十字の園から南側、徒歩五分の場所に「あまだトンボ池ふかさわの森」があります。休耕田跡地、山林からなり側にはJR御殿場線が通っています。あまだ(地名の雨田)は平成十四年から地主・区民の強力で伐採作業が始まりました。作業中は狸・狐・雉と遭遇したとの事、動物がすみやすい森であった事が伺えます。

では早速、あまだトンボ池へ行ってみましょう。枕木遊歩道の階段を下ると湿地帯が広がっています。四月には水芭蕉、五月には菖蒲が咲きます。猪おどしの音色が響き渡る小川では沢蟹がおり、蛍の幼虫もひっそり生息しております。初夏の夜からは源氏ホタルが七月位からは平家ホタルがみえます。多い時は何千ものホタルが乱舞する姿は幻想的で、時に切なくなりません。

東屋から見える木はカエデ。秋には古都京都に負けぬ程、紅葉が広がります。見応えのあるあまだの滝の下では池が広がり、



ザリガニ・コイが住み、またハスの花が彩りを添えます。トンボの生息地でもあり、青い空をバックに飛ぶ姿を見ると清々しくなります。四季折々、さまざまな表情を見せてくれる「あまだトンボ池」。その表情は「そんなに頑張っちゃってえ。のんびりしていきなさい。」と語りかけてくれてるようには感じるのは私だけではないでしょう。

あとがき

七月はもう盛夏。こう暑いと頭の中には、ひんやりフルーツいっぱいのかき氷「シロクマ」が浮かびます。そしてまた夏の暑さとともに温暖化というものを本当に身近に感じます。「二酸化炭素の排出量を抑えようね。」と北極のシロクマの赤ちゃんを映像で見るたびに思います。北極のシロクマにも、私達にも「やさしい地球」であることを願いつつ夏の号をお手元にお届けします。

(やまもと)